

授業科目名・形態	公衆衛生看護学実習Ⅱ 実習	必修・選択の別	選 択	
担当者氏名	日景 真由美・	開講期	4年前期	単位数 3

【授業の主題】

情報の収集・分析など一連の方法・技術を通して、地域特性や地域で生活している人々の健康状態や健康問題を把握し、地域特性に対応した公衆衛生看護活動の実際を学ぶ。また、保健所や市町村の看護活動を通して、地域保健活動における保健所や市町村の役割と機能、地域の健康問題と健康問題への施策及び公衆衛生看護管理活動を学ぶ。さらに、健康問題を解決するため、関係機関や関係職種との連携、コーディネートの必要性を理解する。

【到達目標】

1. 実習地域の地域診断（情報収集・分析・健康問題の抽出など）の方法を理解できる。
2. 地域診断に基づいて、個人・家族・集団ならびに地域全体に対する活動計画の立案を理解できる。
3. 健康問題の背景や住民の多様なニーズを理解し、地域住民の健康問題解決へ向けた保健師の支援活動の実際を理解できる。
4. 地域住民への保健師の支援活動の評価を理解できる。
5. 保健・医療・福祉行政における健康関連施策と行政組織の一員として、地域保健活動における保健師の役割を理解できる。
6. 地域保健医療福祉活動と地域ケアシステム・地域ケアコーディネーションを理解できる。
7. 健康な地域づくりにおける保健師の独自性、専門性を理解できる。

【授業計画・内容】

1. 実習概要

実習オリエンテーションで提示する（詳細は実習要項を参照）

2. 実習施設

秋田県内の県保健所（4か所）と市町村（4か所）

【授業実施方法】

臨地実習

【授業準備】

春季休業中、事前学習課題を調べて提出する。

実習開始前に、実習施設の健康課題から健康教育・健康学習の企画書・指導案を作成する。

【主な関連する科目】

「保健医療福祉行政論」、「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「公衆衛生看護管理論」等の公衆衛生看護学の科目

【教科書等】

公衆衛生学、公衆衛生看護学概論、健康教育論、保健医療福祉行政論、疫学、保健統計学、公衆衛生看護活動展開論Ⅰ、公衆衛生看護活動展開論Ⅱ、公衆衛生看護活動展開論Ⅲ、公衆衛生看護管理論、成人保健活動論、高齢者保健活動論、母子保健活動論、健康課題別活動論Ⅰ、健康課題別活動論Ⅱ、公衆衛生看護技術論、家族看護論などで使用した教科書および配布資料、実習施設について収集した資料などを活用する。

【参考文献】

適宜紹介

【成績評価方法】

事前学習課題（10%）、実習の出席状況・実習内容・実習記録・実習指導者の評価（90%）を総合して評価する。

【学生へのメッセージ】

実習施設において、実際の保健師活動を学ぶことができる貴重な実習です。学生の皆さんは主体的および意欲的な姿勢で実習に臨みましょう。